道徳教育の研究（小学校教諭免許課程対象）　松永幸子

授業概要

道徳とは何か。道徳を内在化するとはどのようなことか、またはそれは可能なのか？という根源的な問いを踏まえたうえで、道徳（教育）の歴史・現在・現場、地域での実践などを理解する。ディスカッションにより自分なりに理論を消化する。また、実際に道徳授業の実践をビデオ教材を使って研究する。学校の授業見学等、学外授業も取り入れ、指導案を作成し、模擬授業に取り組むなど、理論のみでなく実践も取り入れる。

授業計画

第１回	道徳性の理論①
第２回	道徳性の理論②
第３回	道徳教育の歴史
第４回	地域の道徳教育
第５回	体罰問題
第６回	生命倫理問題
第７回	学校現場での道徳教育①
第８回	学校現場での道徳教育②
第９回	生徒指導
第１０回	指導案作成の手順
第１１回	学習指導要領
第１２回	指導案の作成
第１３回	模擬授業体験①
第１４回	模擬授業体験②
第１５回	模擬授業体験③
第１６回	試験

到達目標

道徳理論の理解。道徳教育の思想と歴史を理解する。その上で、自分なりの道徳教育観を見出し、授業等実践に取り組めるようにする。

履修上の注意及び予習・復習

数回はディスカッションを取り入れます。自分なりに考え、積極的な受講態度を期待します。
基本的に全回出席してください。レポーター制で、議論し、指導案の作成や模擬授業も行います。
授業の３分の２以上の出席で評価の対象になります。

評価方法

試験５０％、発表３０％、授業態度２０％

テキスト

プリントを配布します。